

5. 1 ポンプ部の呼び水

ポンプ内に溶離液が無い状態で送液を行うと、プランジャシールの削れや、プランジャの傷みなどが発生します。はじめて送液を行う場合や長期間の停止後に再送液する場合は、必ず呼び水を行ってください。また、送液時の圧力が不安定な場合も呼び水を行ってください。

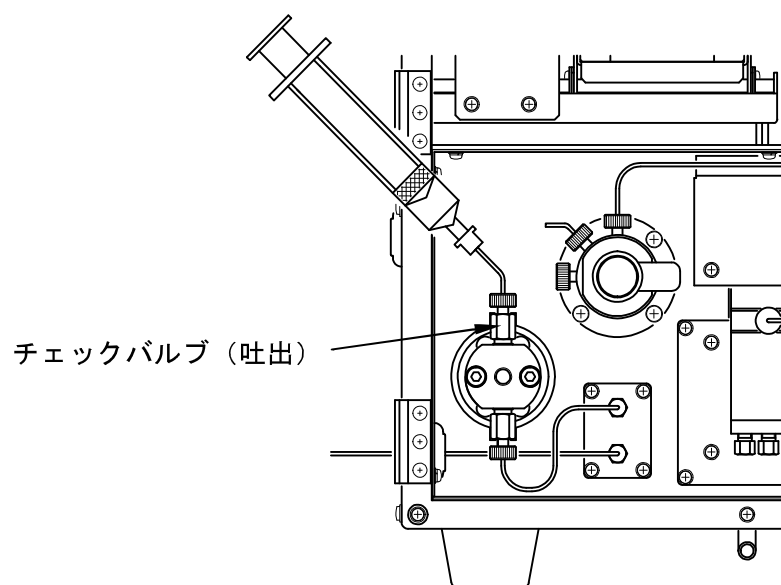
<用意するもの>

溶離液

シリンジ	(品番 : 0019738)	1 個	付属品
ニードル #16	(品番 : 0006456)	1 個	付属品
ハンディコネクタ PEEK	(品番 : 0016566)	1 個	付属品

<手 順>

- ① 溶離液吸引配管を溶離液瓶に差し込みます。
- ② 本機前面のドアを開き、ポンプ部の上側のチェックバルブ（吐出）の配管を外します。
- ③ チェックバルブ（吐出）にハンディコネクタでニードルを接続します。
- ④ ニードルにシリンジを接続し、ゆっくりと溶離液を吸引します。
- ⑤ 溶離液がシリンジまで吸引されエアが出なくなったら、シリンジとニードルを取り外します。
- ⑥ チェックバルブ（吐出）に配管を接続します。



5. 1 ポンプの呼び水

溶離液ろ過のおすすめ

溶離液中に微粒子が含まれているとポンプのチェック弁の開閉状態が不安定となり、送液流量が不安定になります。結果としてピークの溶出時間が変動し、成分の同定が困難になります。また、配管内、カラムでの詰まりを引き起こし、装置トラブルやカラムが劣化する場合があります。

上記トラブルの防止、カラム保護のために使用される溶離液のろ過をおすすめします。溶離液のろ過は通常 $0.2\sim 0.45\ \mu\text{m}$ のメンブランフィルタを使用し、アスピレータ等で減圧し行います。

ろ過用の器具は理化学器具メーカーより購入できます。一例を以下に示します。

ー溶離液のろ過に使用する器具例ー

- ・ 吸引ろ過鐘（サイズがありますので用いる溶離液びんに適したサイズを選びます）
- ・ ゴムアダプター（吸引ろ過鐘に合ったサイズを選びます）
- ・ セパロート一式
- ・ ろ紙（直径はセパロートに合ったもの、保留粒子サイズにより数種類が販売されています）

溶離液と同様に試料溶液中の微粒子も装置トラブル、カラム劣化の原因になりますので、ろ過をおすすめします。

ろ過用のディスポフィルターとして弊社から下記の商品を販売しています。

（使用時には、純水による洗浄を十分に行ってください。）

マイショリディスク	W-3-2	膜直径	3mm、孔径	$0.2\ \mu\text{m}$	（品番：0016145）
マイショリディスク	W-13-2	膜直径	13mm、孔径	$0.2\ \mu\text{m}$	（品番：0016146）
マイショリディスク	W-25-2	膜直径	25mm、孔径	$0.2\ \mu\text{m}$	（品番：0016147）
マイショリディスク	W-3-5	膜直径	3mm、孔径	$0.45\ \mu\text{m}$	（品番：0016148）
マイショリディスク	W-13-5	膜直径	13mm、孔径	$0.45\ \mu\text{m}$	（品番：0016149）
マイショリディスク	W-25-5	膜直径	25mm、孔径	$0.45\ \mu\text{m}$	（品番：0016150）